

人間の目はよくカメラにたとえられますが、そのカメラのレンズにあたる部分が水晶体と呼ばれています。水晶体は主にタンパク質と水からなる細胞でできています。常に水晶体の外側で新しい細胞がつくられ、古い細胞がしぼんで内側に蓄積されるといった新陳代謝が行われています。

① 白内障

が目の奥に入ってくるのを邪魔するので見づらくなります。

具体的症状としては、目のかすみ、ぼやけ、まぶしき、疲れ目、近視、老眼などが起こります。水晶体の濁った部分で光が遮られ、かすみなどによる視力低下を感じることもあります。中央が主に濁っているタイプの場合、明るいところでは瞳孔が絞られ、黒目が小さくなって見にくくなり、薄暗いところでは黒目が大きくなり、見やすくなる

象ということができません。一般的に水晶体は年齢とともに濁りが強くなり、厚みが増して凸レンズの度が強くなることも、より硬くなります。

このため近視や老眼が白内障と同時に進むことも少なくありません。ただし、症状があるからといって必ずしも白内障とは限りません。同じような症状が網膜剥離などの、放っておくと急激に悪くなる病気の初期症状であることも考えられます。少しでも気になる

るといふ現象が起こってきます。

白内障は一種の老化現象

適切な時期に手術が必要

症状があれば、必ず眼科で診察を受けてください。

治療としては、目薬による治療もありますが、若干進行を遅くすること

はできても止めるものはありません。サプリメントも同様です。一度進んでしまった白内障を根本的に治すには、手術による治療しかありません。



ん。

あまりに症状が進行してしまつと、簡単にすぐ終わるはずの手術が難しくなつたり、水晶体の厚みが増して急性緑内障発作を起こしたりします。

白内障は数カ月、数年といった時間をかけて徐々に進行するもので、診断を受けたからといって、すぐ手術を受けなければならぬということではありませんが、適切な時期に手術を受ける必要があります。

次回は、最新の白内障手術についてお話しします。

(スカイビル眼科医院 院長・秦 誠一郎)

〈第4月曜掲載〉